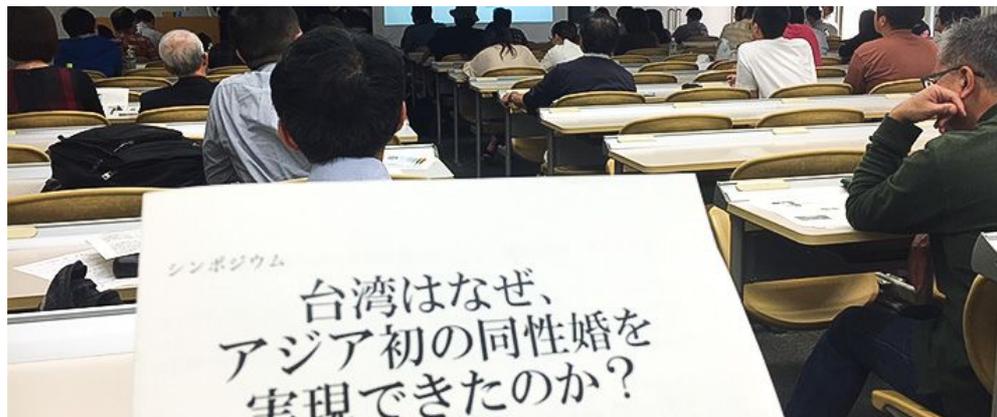


[Home](#) > [トピックス](#) > 台湾にできて日本にできないのはなぜか——台湾の同性婚禁止違憲判断を考える

# 台湾にできて日本にできないのはなぜか——台湾の同性婚禁止違憲判断を考える

社会 2017.11.25

野嶋 剛 [【Profile】](#)

いいね!

Twitter

Facebook 55

印刷

★ お気に入り

+ もっと見る 83

他の言語で読む

[English](#) | [日本語](#) | [简体字](#) | [繁體字](#) | [Français](#) | [Español](#) | [العربية](#) | [Русский](#)

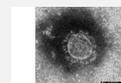
台湾の司法最高機関である大法官会議が、同性同士の婚姻を制限してきた現行民法の規定は憲法違反、との解釈を示した5月24日のニュースは世界を駆け巡り、日本社会にも大きな反響を呼んだ。

同時に、日本社会に一つのクエスチョンが広がった。

「日本でできないことを、台湾がなぜ先にできたのか？」

日本は世界有数の先進国で、民主や人権についてもアジアで最も進んでいるという自信を持ってきた、はずだった。しかし、それが自己過信に過ぎないと幻想を打ち砕いたのが、台湾の司法判断だったのである。

## あなたにおすすめ



都道府県別の新型コロナウイルス感染者数

2020.02.26



コロナ危機で活躍、国民の憧れとなった注目の台湾「天才…

2020.03.06



梅の魅力1 梅干しが持つ健康パワー

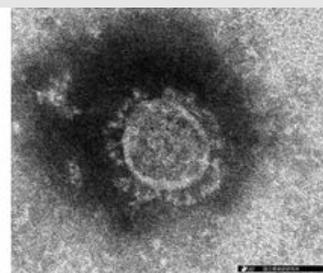
2017.08.11



日本で蔡英文本が売れるわけ

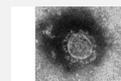
2017.10.01

## 人気のコンテンツ



都道府県別の新型コロナウイルス感染者数

2020.02.26



都道府県別の新型コロナウイルス感染者数

2020.02.26



北海道、首都圏などで小規模の集団発生：新型コロナウイルス…

2020.02.26

## 台湾が国際的に置かれた状況も同性婚の実現を後押し

大法官解釈は、民法の同性婚への制限は婚姻の自由を保障する憲法22条と平等を定めた憲法第7条「中華民國の人民は男女の区別なく、宗教、種族、階級、党派の区別なく、法律上等しく平等である」に違反しているとし、2年以内に関連法律の修正を求めた。「生殖能力があること」を民法で結婚の条件としていない以上、生殖能力のないことを理由に同性婚を否定できないと指摘。立法措置が2年以内に行われない場合、同性婚希望者は戸籍事務所で結婚登記ができる、という救済措置まで付け加えた。

これらは、日本の性的少数者（LGBT）の権利向上グループが長く求めてきた手が届かなかった「理想」ともいえる見解である。なぜ台湾にできて、日本にできないのか。そんな疑問に答えることを目的の一つとして、「台湾はなぜ、アジアで初の同性婚を実現できたのか？」と題したシンポジウムが10月、初秋の北海道大学で開催された。

台湾からは、呂欣潔・台湾同志熱線研究員と鄧筑媛・婚姻平等プラットフォーム活動責任者の2人が招待され、それぞれ1時間ほど講演を行い、約100人の参加者が、台湾の最新情報に耳を傾けた。

2人の報告では、台湾の運動の長い歴史や粘り強い取り組み、政治や司法への働き掛けなど、大法官解釈が突然飛び出したものではなく、世論や政治、司法への運動側の努力の結果、生まれたものであることが強調された。

会場からはこんな質問が飛んだ。

「社会的な偏見がある中で、どのように若者たちにLGBTであることをカミングアウトさせ、この問題を重要な政治課題に育てていったのか」

呂欣潔はこう応じると拍手が上がった。

「カミングアウト（中国語：出櫃）は、台湾でもなかなか難しい。でも、若者世代にとっては、身の回りにLGBTがいるのは普通のこと、自分や家族がLGBTでなくても、私たちの出した法案を支持してくれる人たちがたくさんいる。台湾を変えたい、最もいい国にしたいという若者の願いが大きい」

シンポジウムを主催した北海道大学名誉教授で明治大学教授の鈴木賢氏はこう付け加えた。

「台湾が国際社会で生き残るには民主や人権を広げることで国際的な地位を確立することに若者の関心があり、世界から尊敬されない遅れた制度を持っている国は生き残れない、私たちの社会を良くしたいと若者が考えているところが、太平楽な日本とは大きく違う」

確かに、台湾における先進的な取り組みは台湾の国際的な名声の拡大につながっている。毎年10月に開催される台北でのLGBTパレードは、ここ数年はアジア



コロナ危機で活躍、国民の憧れとなった注目の台湾「天才…

2020.03.06



【LIVE】新型コロナ感染拡大への対応を説明 安倍首相が会見

2020.02.29



倅田李梨:ストリップ界にアーティストックな新風を吹き…

2020.02.08



マスク増産も完全供給にめど立たず、「メーカーに在庫ない…

2020.02.20



「知らない」人は意見が無い—温暖化に関する18歳意識調…

2020.02.25



人気猫種はスコティッシュ・フォールドが12連覇：室内飼…

2020.02.22



「納豆を多く食べる人」は死亡リスクが低下：国立がん研究…

2020.02.20



台南に婿入りした日本人公務員は結婚式で何を考えたか

2020.02.23

もっと見る

### 注目のキーワード

コロナウイルス

厚生労働省

安倍晋三

東京

肺炎

感染症

最大規模のパレードとして国際社会から多くの参加者を得ている。大法官判決を大きく報じたメディアも主に欧米のメディアだった。

パネリストの呂さんは、日本と台湾の共通点について、日本も台湾も、キリスト教の社会ではなく、対人関係であり衝突を好まないところがあり、LGBTであることまでは家族も否定しないが、周囲に知られることは避けてほしいと考える傾向がある、と述べた。

「私も、15年かけて父母に私がレズビアンであることを理解してもらった。家族だけでなく、時間はかかってもじっくり社会を説得したい。私がよく言うのは、私のことを嫌いでもいいが、私の法律的権利を剥奪しないでほしい、国民全員にLGBTを好きになれとは言わないが法律の平等を認めてほしい、ということ。法の下での平等を実現するのは国家の責任なのです」

次ページ：台湾では若者向けの政策提言が人気獲得の王道 >

< PREV 1 2 3 NEXT >

#### この記事につけられたキーワード

台湾

同性婚

LGBT

いいね!

Twitter

f

Facebook 55

印刷

★ お気に入り

+ もっと見る 83



**野嶋 剛** NOJIMA Tsuyoshi

経歴・執筆一覧を見る >

ニッポンドットコム・シニアエディター。ジャーナリスト。大東文化大学特任教授。1968年生まれ。上智大学新聞学科卒。在学中に、香港中文大学、台湾師範大学に留学する。92年、朝日新聞社入社。入社後は、中国アモイ大学に留学。シンガポール支局長、台北支局長、国際編集部次長などを歴任。「朝日新聞中文網」立ち上げ人兼元編集長。2016年4月からフリーに。現代中華圏に関する政治や文化に関する報道だけでなく、歴史問題での徹底した取材で知られる。著書に『[🔗](#)ラスト・バタリオン 蒋介石と日本軍人たち』（講談社）、『[🔗](#)認識・TAIWAN・電影 映画で知る台湾』（明石書店）、『[🔗](#)台湾とは何か』（ちくま新書）、『[🔗](#)故宮物

語』(勉誠出版)など。オフィシャルウェブサイト：[野嶋剛](#)

## 関連記事



虹がはためくのはいつか——日本と台湾のLGBT問題を考える

ジェンダー・性  
2019.04.06



金融サービス、LGBTに対応=同性婚も「夫婦」扱い-銀行・保険

経済・ビジネス  
2018.05.07



同性同士にも「婚姻の自由」を=13カップル、違憲訴え一斉提訴

社会 2019.02.14



渋谷からじわり広がるLGBT理解:9市区がパートナー証明発行

Japan Data  
2018.09.11



ゲイやレズビアン:性的指向の自由は「21世紀の人権」-日本社会とLGBT

In-depth 2015.04.30



東京レインボープライド 2017:LGBTパレードに過去最多の参加者(Japan in...

ニュース 2017.05.09